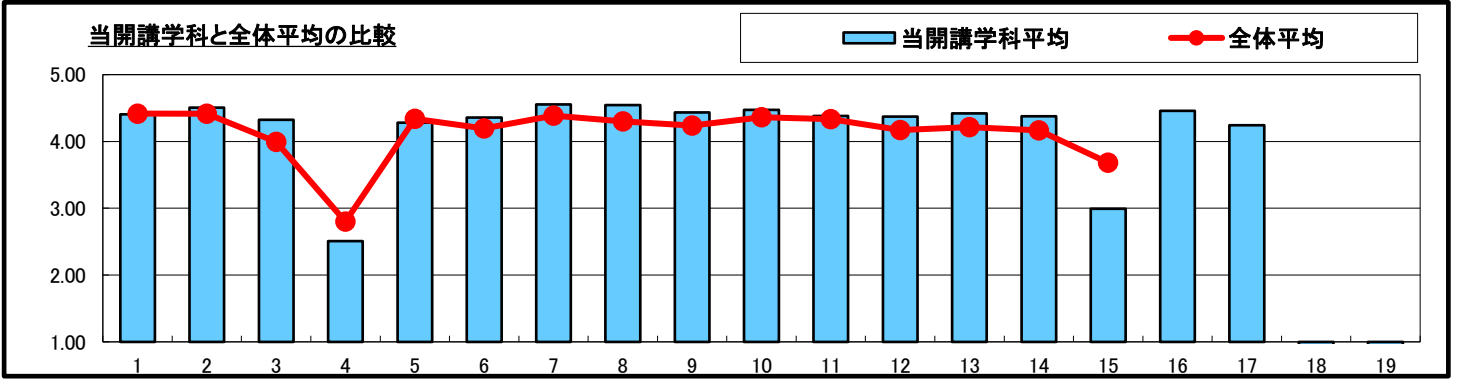


開講学科	こども健康学科	履修者数	298
		回答者数	212

学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	43 20.3	95 44.8	51 24.1	23 10.8	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.41	109 51.4	85 40.1	14 6.6	3 1.4	1 0.5	212	0	
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.51	128 60.7	68 32.2	11 5.2	2 0.9	2 0.9	211	1	
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.33	98 46.2	89 42.0	21 9.9	4 1.9	0 0.0	212	0	
▼学部レベルの質問項目										
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.51	2時間以上 30 14.2	1時間以上 2時間未満 23 10.9	30分以上 1時間未満 36 17.1	30分未満 57 27.0	全くして いない 65 30.8	211	1	
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.28	100 47.4	73 34.6	35 16.6	3 1.4	0 0.0	211	1	
6	この科目の難易度は適切であった	4.36	107 50.5	84 39.6	13 6.1	6 2.8	2 0.9	212	0	
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.55	131 62.1	69 32.7	9 4.3	1 0.5	1 0.5	211	1	
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.54	133 62.7	63 29.7	15 7.1	0 0.0	1 0.5	212	0	
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.43	123 58.0	68 32.1	13 6.1	6 2.8	2 0.9	212	0	
▼教員個人レベルの質問項目										
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.47	124 58.8	68 32.2	14 6.6	5 2.4	0 0.0	211	1	
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.38	113 53.3	73 34.4	20 9.4	6 2.8	0 0.0	212	0	
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.37	117 55.5	65 30.8	21 10.0	7 3.3	1 0.5	211	1	
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.42	125 59.2	62 29.4	15 7.1	6 2.8	3 1.4	211	1	
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.38	110 51.9	80 37.7	16 7.5	4 1.9	2 0.9	212	0	
15	この授業のシラバスを読みましたか	2.99	十分に 読んだ 47 22.3	よく読んだ 28 13.3	どちらとも いえない 50 23.7	ほとんど 読まなかった 48 22.7	全く読んで いない 38 18.0	211	1	
▼学科設問										
16	（こども健康学科専門科目のみ）この科目を受講して、資格免許に対する勉強の意欲が向上しましたか	4.46	122 57.5	70 33.0	16 7.5	3 1.4	1 0.5	212	0	
17	授業で学んだ内容を他の人にうまく説明することができますか	4.24	94 44.5	84 39.8	24 11.4	8 3.8	1 0.5	211	1	
18		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	212	
19		－	0 －	0 －	0 －	0 －	0 －	0	212	



## 2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	こども健康学科
講評者	高 向山

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境やクラスサイズ、周りの学生の受講態度などすべての項目に対して、大変高評価が得られたことについては、引き続き学修環境やクラスサイズなどに注意を払い、受講生の意欲を維持するよう努力を重ねたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	科目の難易度設定は大変難しいものがあるものの、それも含めて、学びを深める上で有益であったこと、自らのキャリア形成などに有益であったことなど、大変高評価が得られたことについては、保育者養成に携わる機関としては大変重要なことであり、今後も継続していきたい。しかし、時間外学修時間については、受講生の間でばらつきが大きく、全くしていない学生もいることを重く受け止める必要がある。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員個人レベルに関する項目については大変高評価が得られたことについては、保育者養成校の成員の資質能力が認められたと理解され、今後も研究や教育指導などに磨きをかけ続けたい。また、シラバスを読んでいる受講生が相当数いることについては、今後授業ガイダンスの際に Web シラバスを参照した内容を紙ベースで配布するなど読んでもらうように工夫することも検討されたい。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	当該科目の受講により資格免許に対する意欲が向上されたことが確認でき、教員にとっても大変励みとなった。さらに、授業で学んだことを言語化して人に説明することができると自己評価する受講生が8割にもものぼり、学生の専門職としての資質能力の向上に期待されたい。